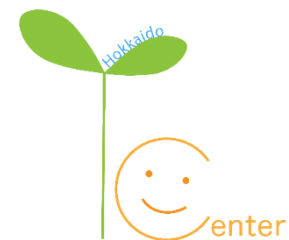


幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業
中間成果報告会

中間成果報告

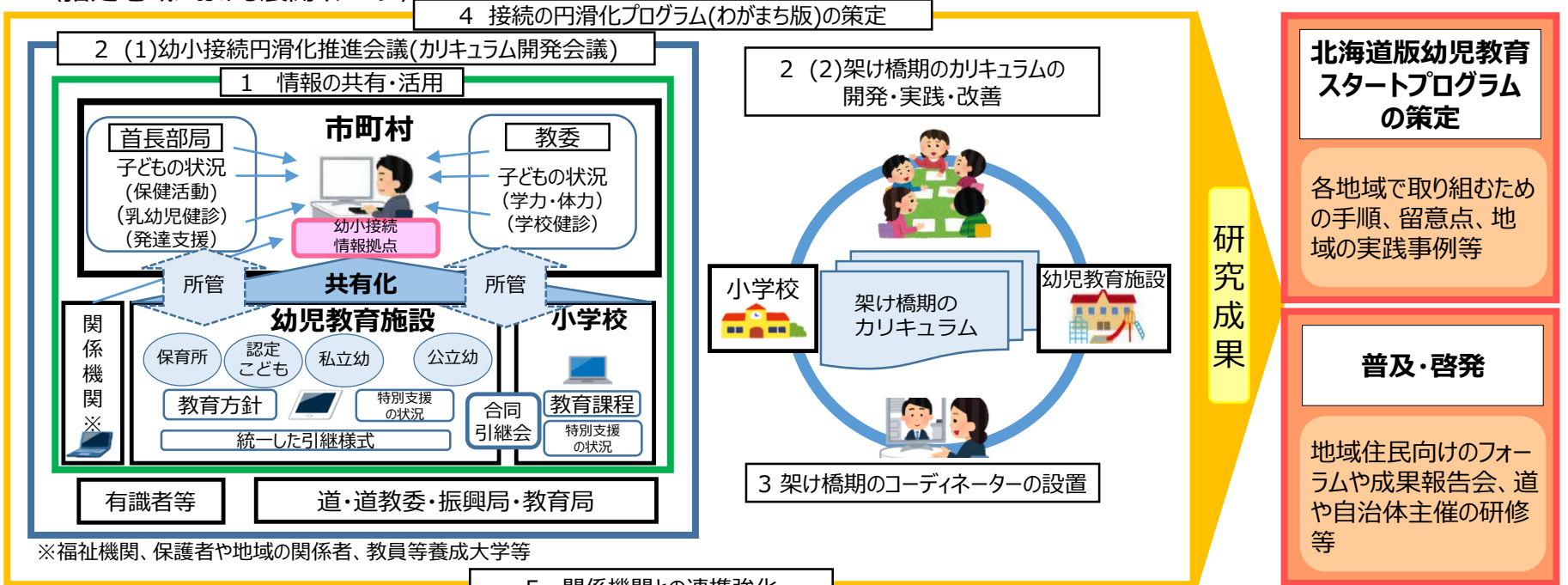
北海道教育委員会



北海道版幼児教育スタートプログラム事業 【令和4年度新規事業（～令和6年度予定）】

- 全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことができるよう、義務教育開始前後の5歳児から小学校第1学年の2年間（「架け橋期」という。）の教育の内容や方法を研究。
- 幼児教育施設や小学校等のほか、福祉関係機関等と、立場の違いを越えて連携・協働し、この時期の教育の質的向上を図る。

〈指定地域における展開イメージ〉



〈3年間の調査研究計画〉

■令和4年度

- 【指定地域】
- ・ 事業内容の詳細の検討
 - ・ 自治体内の情報共有の検討、合同研修
 - ・ 事業実施に向けた課題の整理、方向性の検討、カリキュラム開発 等

【北海道】

- ・ 事業内容の検討、関係団体・機関との調整
- ・ 指定地域の選定、委託契約の締結
- ・ 指定地域における会議、合同研修、カリキュラム開発等の実践に係る調整等
- ・ 文科省「企画評価会議」への対応 等

■令和5年度

- 【指定地域】
- ・ **カリキュラムの実施・検証**
 - ・ 情報を活用した課題解決策の検討
 - ・ 合同研修の実施と改善、発展
 - ・ 実施上の課題の共有 等

【北海道】

- ・ カリキュラムの実施・検証への支援
- ・ 情報共有・活用への支援
- ・ 課題解決策の検討への支援
- ・ 合同研修の推進支援、研修教材の開発
- ・ 文科省「企画評価会議」への対応 等

■令和6年度

- 【指定地域】
- ・ **実践を踏まえた課題の共有、改善策の検討、持続的・発展的なカリキュラムの作成**
 - ・ 円滑化プログラム(わがまち版)の策定
 - ・ 合同研修の工夫・改善、発展
 - ・ **家庭や地域への普及・啓発**

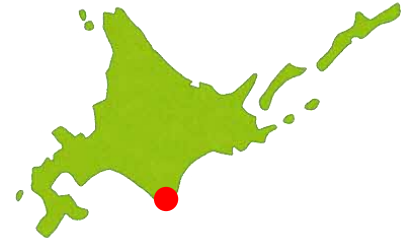
【北海道】

- ・ カリキュラムの改善と発展に係る支援
- ・ **北海道版スタートプログラムの策定**
- ・ **家庭や地域への普及・啓発**
- ・ 研修の改善への支援、研修教材の開発
- ・ 文科省「企画評価会議」への対応 等

指定地域について

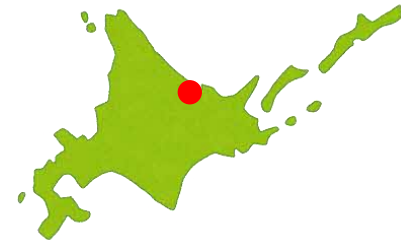
【えりも町】

- ・ 指定地域 2年目
- ・ 人口：4,222人
- ・ 協力園校：私立幼稚園1園、公立保育所3園、
公立小学校4校
- ・ 幼小接続アドバイザー配置



【佐呂間町】

- ・ 指定地域 1年目
- ・ 人口：4,767人
- ・ 協力園校：公立保育所3園、公立小学校3校
- ・ 保小連携コーディネーター配置



町の宝である子どもたちの学びをつなぐために、
架け橋期のコーディネーターが、
カリキュラム作成の方針を具現化し、
園と小学校、園間・小学校間をつなぐ

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■架け橋期のカリキュラムの方針

指定地域：えりも町

令和5年度 えりも型子育て全体構想(グランドデザイン)(案)

えりも町学校教育の推進

今日の時代に対応する「知・徳・体の調和の取れた教育」

めざす子ども像
考える子 思いやりのある子 たくましい子

学校教育の基本姿勢	8つの積極的な危機管理
1 基礎学力の保障 2 幼・小の接続と幼小中高の学びの連続 3 えりも高校の存続への対応	①組織・運営 ②教育課程 ③生徒指導 ④健康安全 ⑤服務・勤務 ⑥施設管理 ⑦保護者・団体・関係機関 ⑧個人情報

目標とする資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①基礎的、基本的な知識・技能	④課題を解決する思考力・表現力	⑦主体的に学習に取り組む態度
②道徳的価値の理解	⑤道徳的な判断力・心情	⑧道徳的な実践意欲と態度
③健康・安全の知識・技能	⑥健康・安全の課題解決の思考力・表現力	⑨健康の保持増進・安全と体力向上への意欲・態度

えりも町教育行政執行方針の柱となる推進事項

1 児童生徒を育てる地域と共にある学校の教育 (1) 資質・能力を育む教育活動の充実 (2) 豊かな人間性を育む教育活動の充実 (2) 健やかな体を育む教育活動の充実 (3) 配慮を必要とする児童生徒への支援 (4) 幼児教育と小学校教育の接続	2 希望の進路実現を目指すえりも高等学校の教育 (1) 一人一人の進路に対応する学校経営の充実 (2) 魅力ある教育活動の推進 (3) 存続対策	3 小・中高一貫教育の推進 (1) 小中高 ・英語等検定他5項目 (2) 中・高 ・自然や地場産業を生かした総合的な学習他3項目	4 地域と一体となった学校 ・信頼の絆3項目 ・具体的な取組3項目
--	--	---	--

未来えりも15項目

幼児教育

幼児教育を行う施設として共有すべき事項
育みたい資質・能力の基礎及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(活動全体によって育むこと)

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
数量や図形、標識や文字等への関心・感覚	豊かな感性と表現	社会生活との関わり
要領(8)・指針ク	要領(9)・指針ケ	要領(5)・指針オ
要領(2)・指針イ	要領(6)・指針ウ	要領(7)・指針キ
要領(3)・指針ク	要領(10)・指針コ	
要領(4)・指針カ	要領(11)・指針カ	
要領(5)・指針キ	要領(1)・指針ア	
要領(6)・指針ク	要領(2)・指針イ	
要領(7)・指針カ	要領(3)・指針イ	
要領(8)・指針ク	要領(4)・指針エ	
要領(9)・指針ケ	要領(5)・指針オ	
要領(10)・指針コ	要領(6)・指針ウ	
要領(11)・指針カ	要領(7)・指針キ	

1 (4) 幼児教育と小学校教育の接続(架け橋プログラム事業を柱に展開)

(1) 経営・指導交流 (2) 架け橋プログラムの作成と実践 (3) 幼児・小学生の交流

指定地域：佐呂間町

資料3 **さろまっ子の力**

～【保小接続学びのテーマ その1 と10の姿の関わり】保育・教育の架け橋による18歳までの土台づくり～

→「豊かなコミュニケーション力」の育成を通して、10の姿に加え、以下の5つの力を統合的につなぎ伸ばし、地域としての「遠隔性(※)」を超えていける力を豊かに育む。

「さろまっ子の豊かな表現力と感性を未来へ、グローバルにつなげ、広げ、伸ばす」

さろまっ子 + 1 ぶらすわんの力

「豊かなコミュニケーション力」

未来の郷土を創るサロマ人を育む

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■ 架け橋期のカリキュラムの作成プロセス

指定地域：えりも町

< 小学校 >

小学校の教務主任と幼保小担当教諭が、町内の各園を複数回訪問し、幼児の様子や保育を参観

< 幼児教育施設 >

4園が実態交流や検討会で各園の取組等について情報共有

小学校の教務主任等と保育者が、基本的な指導の方向性などについて情報共有

訪問等で収集した情報を基に、「架け橋期のカリキュラム（素案）」を作成

幼小接続アドバイザーが、幼児教育施設間の実態交流等での情報を基に、「架け橋期のカリキュラム（素案）」を作成

「架け橋期のカリキュラム（素案）」を踏まえてスタートカリキュラムの見直し・改善

えりも町幼小接続ワーキンググループ会議で「架け橋期のカリキュラム（素案）」の内容等について検討

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■架け橋期のカリキュラム（えりも町）

えりも町架け橋期のプログラム(イメージ図)(案)

0歳～		5歳児【年長】												小学校1年生～	
共通の視点として考える項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
期待する子ども像		<ul style="list-style-type: none"> 年長になったことを喜び意欲よくとする 友達と共に過ごすことの喜びを味わおうとする 自分で考え、自分で行動し喜びを楽しもうとするようになる 	→	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付こうとする 友達と楽しく生活する中で、決まりの大切さに気付き守ろうとする 	→	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思ったことを相手に伝え相手の思っていることに気付くようになろうとする 夏の日差しにふれ、地域の人々との触れ合いを楽しむ 	→	<ul style="list-style-type: none"> 友達と話し合い、協力しながら遊びを展開しようとするようになる 身近な自然に関心をもち、遊びや生活に取り入れようとする 	→	<ul style="list-style-type: none"> 仲間意識が深まり、遊び方やゲームの進め方・ルールにもなっても、譲り合ったり、自分達で解決したりしようとする 生活の中で文字や記号に関心をもちようとするようになる 	→	<ul style="list-style-type: none"> 夏通しをもって生活や遊びを過ごす。必要な言葉のやりとりを楽しむようになる 	→	<ul style="list-style-type: none"> 就学への希望をもって、生活や遊びに意欲的に取り組もうとする 	
関連させたい「育ててほしい」10の姿		<ul style="list-style-type: none"> <協同性> 様々な仲間と関わりを通じて互いのよさをわかり合い、楽しみながら一緒に遊びを進めていく <健康な心と体> 決断の意思、意欲、様々な生活に必要な活動の必要物に気付く自分である 		<ul style="list-style-type: none"> <言葉による伝え合い> 言葉や物象などに楽しみ、興味をもって聞き想像をする楽しさを味わう 		<ul style="list-style-type: none"> <いろいろな人との関わり> 地域の人々や触れ合い、人々の様々な関わりについて喜び、人との触れ合いを楽しむ 		<ul style="list-style-type: none"> <豊かな感性と表現> 身近な自然の感性を通して、生きていくものへの愛着を感じ、生命の営みの不思議さ、生命の尊厳に気づき感動したり、いたわったり、大切にしたりする 		<ul style="list-style-type: none"> <道徳性・規範意識の芽生え> 友達と折り合いをつけ、自分の気持ちや意見を調整する 		<ul style="list-style-type: none"> <文字への関心・感受> 文字や様々な標識が、生活や遊びの中で人と人をつなぐコミュニケーションの役割をもつことに気付く、読んだり、書いたり、使ったりする 			
小学校「生活科」単元名															
遊びや学びのプロセス		<ul style="list-style-type: none"> ☆草園活動をとおしての学び 育てたい野菜を友達と相談して決める、種まき、水やり(協同性・自然との関わり・生命尊重・公共心) 				<ul style="list-style-type: none"> 賞賛しながら成長を期待する水やり、草取り 		<ul style="list-style-type: none"> 収穫 / 収穫の喜びを味わう 		<ul style="list-style-type: none"> 調理 / 自分で調理し食することで感謝の気持ちを持つ 					
0歳児教育施設で展開される活動		<ul style="list-style-type: none"> 絵本・紙芝居読み聞かせ(年間を通して) お散歩・園庭遊び(年間を通して) 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具 栽培、飼育活動(種まき) 健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会 	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、プール遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を使ってルールのある遊び(ドッジボール、鬼ごっこ等) 身体を使った遊び(縄跳び、跳び箱、マット運動) 遊具訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 収穫 調理 	<ul style="list-style-type: none"> 発表会 	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会 雪遊び 	<ul style="list-style-type: none"> お正月遊び もちつき 雪遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 部分 	<ul style="list-style-type: none"> ひなまつり 卒業式 お別れ会 			
指導上の配慮事項等	<ul style="list-style-type: none"> 先立たちの関わり方 ○子どもの学びや生活を豊かにする幼児教育施設的環境構成 	→	<ul style="list-style-type: none"> 年長になった喜びや、新しい環境の中での不安・緊張を受け止め、認めたり励ましたりしていく 一人一人の気持ちを大切に受け止めながら信頼関係を築く 話をしたい、聞きたいという気持ちを引き出すような関係性を築く 	→	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、文字などを思いながら思ったことや考えたことを伝えようとするようになる関わりをもつ 子ども自身の伝えよう、表現しようとする意欲を受け止める 身近な自然に触れられるよう、野外活動へ行く機会をもつ 	→	<ul style="list-style-type: none"> 身体を使ってルールのある遊び(ドッジボール、鬼ごっこ等) 身体を使った遊び(縄跳び、跳び箱、マット運動) 遊具訓練 	→	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が互いに関わりを深め協同して遊ぶようになるため、自ら行動する力を育てていけるように関わりをもつ 	→	<ul style="list-style-type: none"> お正月遊び もちつき 雪遊び 	→	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けての期待や不安を受け止め、自信をもって生活できるよう配慮する 		
子どもの交流【行事等を食む】				<ul style="list-style-type: none"> 小学校運動会の見学 			<ul style="list-style-type: none"> 学習発表会見学 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 数学体験に参加し、小学生と関わりをもつ 						
教職員との交流【研修を食む】							<ul style="list-style-type: none"> マツカフ養魚施設体験 		<ul style="list-style-type: none"> 種別別等を通して、家庭園での様子共有あり 			<ul style="list-style-type: none"> 一日入学に参加し、小学生との関わりをもつ 			
家庭や地域との連携		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子や伝え合い、保護者の思いを受け止めるながら信頼関係を築いていく 子どもの情緒安定、基本的な生活習慣の自立に向け、生活リズムの大切さを伝えていく 消防訓練等参加 	→	<ul style="list-style-type: none"> 保護者参観・懇話会などを通じて、子どもの様子や成長を伝え家庭と共通認識を持ち、子どもに接しているようにする 	→	<ul style="list-style-type: none"> 地域の夏祭りや、風物詩等で地域の友達と触れ合う 消防放水体験 	→	<ul style="list-style-type: none"> 行事等を通して、子どもたちの成長を見てもらい、成長の姿を共有しあう 	→	<ul style="list-style-type: none"> 種別別等を通して、家庭園での様子共有あり 	→	<ul style="list-style-type: none"> 就学への期待や不安を軽減しながら課題を見つめつつ、一人一人の成長を振り返り、安心して就学を迎えられるようにする 			

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■ 架け橋期のカリキュラムの作成プロセス

指定地域：佐呂間町

- 保小連携アドバイザーの事前の取組
 - ・各校のスタートカリキュラムの情報収集
 - ・各園・各校への訪問

第1回開発会議（R5.7月）

- ・架け橋期のカリキュラム開発の視点を確認

ワーキンググループ（9月～）

- ・各地区（3地区）で開催 ※各地区、1園1小
- ・各地区4回実施予定
- ・保育所は、所長・主任保育士・年長児担当
- ・小学校は、校長・教務等が参加
- ・保育参観後、交流及び架け橋期のカリキュラム内容を検討

第2回開発会議（R5.12月）

- ・各地区での協議内容をもとに、架け橋期のカリキュラム内容を検討

R6.4月～

各園・各校で架け橋期のカリキュラムの実施・検証
アンケートを実施し、ワーキンググループで内容の見直し・改善

資料 2-2 協働のカリキュラム開発の視点整理
「発達や学びの連続性を保障する架け橋期のカリキュラム」の全体チャート（開発会議・ワーキンググループ用）

保育園・幼稚園 (保育所保育指針)	保小の架け橋期 (発達や学びの連続性を保障する)	ここを開発	小学校 (小学校学習指導要領)
活動・資質発揮の場	アプローキがカリキュラム	スタートがカリキュラム	活動・資質発揮の場
保育所での遊びを通して5つの領域の育ちが、小学校の学習や生活で 実生活と関連できるように （★一年を4期に分けて活動と目標を）	共に育ちを育む「通じ」です。到達目標ではあてません。	保育所での遊びや生活を通して 学びと育ちを土壌に生かして 、主体的に自己を表現し、学力を発揮できるように。（★一年を4期に分けて活動と目標を）	
保育	保育の5つの領域を ★ を 経て	10の姿	主体的・対話的で深い学びを経て
遊び・行事・運動会	おもに健康領域	① 健康安心と体	体力・健康・安全
朝の会		② 自立心	学びに向かう力・人間性等
設定保育の活動	おもに人間関係	③ 協同性	非認知的スキル
制作活動		④ 道徳性・規範意識の芽生え	
自由遊び	おもに環境	⑤ 社会生活との関わり	知識・技能
給食		⑥ 思考力の芽生え	思考力・判断力・表現力
行事	おもに言葉	⑦ 自然との関わり・生命尊重	認知的スキル
運動会の開わり	おもに表現	⑧ 数量や図形・図表や文字などの関心・態度	
		⑨ 言葉による伝え合い	
		⑩ 豊かな感性と表現	
作成中	（わが町・ふるさと・さつまっ子の力）	さつまっ子（+1あそびの力） 豊かなコミュニケーション力 （豊かなコミュニケーション力） （豊かなコミュニケーション力）	各教科系系列 行事 係活動 児童会・クラブ 課外活動 教科外系系列

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■架け橋期のカリキュラム案（佐呂間町）

シート 1		さろまっ子 虹の架け橋カリキュラム（案）2023/10/19				未来社会で活躍する力			
年齢	年長（5～6歳児）	アブローチカリキュラム				学校1年生（6～7歳児）			
発達期	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	第Ⅳ期（撤立ち期）	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	第Ⅳ期	第Ⅱ～Ⅳ期
月	4～5月	6～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
行事	入園式・お泊まり会・運動会		おゆうぎ会	卒園式	入学式・運動会・キャンプ	学芸会	卒業式		
		前期教科書（上）				後期教科書（上）			
育てたい さろまっ子の姿		<p>【言葉・コミュニケーション】★自分の気持ちを素直に伝えられる子ども ★相手の話を聞くことが出来る子ども</p> <p>【チャレンジ】★あきらめずに苦手なことにもチャレンジしようとする子ども</p> <p>【豊かな心】★友達を受け入れたり、思いやれる子ども ★楽しさや喜びを友達と共有出来る子ども</p>				<p>【重点】自立する児童（自分の言葉・考え・行動）、伝え合い・話し合う力（コミュニケーション能力）、短文の趣旨をつかめる子ども</p> <p>年間指導計画の重点・言語活動 + 学校の重点</p> <p>→〇〇〇〇に意欲を持って〇〇する子どもたち</p>			
活動・資質発揮の場（単元構成等）		【活動場面・資質素地による整理】				【R6年版 単元による整理】			
学ぶ力		<p>読本・物語（読み聞かせ）で A お話の展開を一生懸命に聞き取る。【語彙・語感】 B 豊かな言葉に親しむ・響きやリズムを楽しむ。【聞く・読む】 （例）（お月見団子）（語感・語彙） C 受け答え（気づきを言葉で伝えようとする）【伝合（コ）】</p> <p>朗読の会・日画（当番活動）で D みんなの前で司会や発表が出来る。【伝合（コ）】</p> <p>遊 び（砂場遊び、遊具、ごっこ遊び、カルタ、トランプ、） 【先生や友達との関わり合い】で → 「真立て」や「関わり合い」を通して （気づきを言葉で伝え合おうとする）【伝合（コ）】</p> <p>生活でのやりとり 【先生や友達との関わり合い】で ・説明を一生懸命に聞き・理解しようとする。（聞く力・想像・見通し） （例）遊び方、道具の使い方、お約束・持ち物？など ・「給食」や「」を通して「思いを言葉で伝え合おうとする」【伝合（コ）】 感謝、好き、苦手、おいしい、お替わり、思い出、楽しい、嬉しい、悲しい、嫌い...</p> <p>劇 作（先生の説明・素材との出会い） B（材料・材質触れ）で 例）浜・新川織 額言葉「枚」、詩集「ふじいろ」「小さめ」... 素材に隠れて一見立てる「ダイヤモンドみたい」「シャボン玉みたい」 若・ヒロファン織「すけすけ」陣用組「ふわふわ」...、など言葉の「語感」や「質感」 を豊かに広げていく。【語感】</p> <p>漢 語（すはなし） 【語りかけ・問いかけ】で</p> <p>掲示物・持ち物（あいうえお表や持ち物）で 読む・見る・気づく</p>				<p>～ いっぱい読もう～ 【読んで感じたことを伝える・演じる】 ○おはなし ききたいな【読・聞領域】（4月） 【場面・登場人物の行動を読み取る】 ○はなのみち【想像・音読】</p> <p>～ 読んで伝えよう～ 【順序を考えながら読み、感じたことを共有する】 ○たぬきの糸車（10月） ○どうぶつのおちゃん（2月）</p> <p>～ 話してみよう～ 【自分の思いや考えに気付いて表現する】 ○はるがきた○なんていおうかな ○どうぞよろしく○こんなものみつけたよ○ことばのたいそう 【自分の思いや考えを伝え合う】（話す力）【伝合（コ）】</p> <p>～ 聞いてみよう～ ○ことばのたいそう</p> <p>～ いっぱい話そう～ 【自分の思いや考えを持って伝え合う】</p> <p>～ いっぱい聞こう～</p> <p>・単元を貫く言語活動・重要な資質・能力をピックアップ 資質・能力ベースの大単元</p> <p>～ しっかり書こう！～ ★正しい鉛筆の持ち方と姿勢が出来る ★「たれが」なに」をしているか書く ○かくことばのしいな（4月） ○あいうえおであそぼう</p> <p>～ 書いて伝えよう～ ○はるがきた（4月） ○くわしく かこう（10月）</p>			
環境 （もの・ひと・こと）との関わりを通して		豊かな語感 【感じる・気付く・知る】				<p>【学校生活・行事他】 *児童会活動で 相手意識を持って分かりやすく *行事を通して、〇〇する力を育む。</p> <p>小学校側では単元配当・重点目標の配列によって時系列で示す方がスタートカリキュラムで実践を意識しやすいと考えます。</p>			

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■架け橋期のカリキュラム案（佐呂間町）

	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">学 ぶ 力</p>		<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">生 きる 力</p> <p style="font-size: 0.8em;">たくましく 環境(もの・ひと・こと)を通し</p>	<p>【学習目標】 作(先生の説明)</p> <p>A【材料の形に触れ】 例【浜佐呂間地区】「折り紙ブドウ」数から 「3+3で合わせていくつ？」</p> <p>B【材料の形に触れ】 数、形への気づきを高める言葉掛け、円や四角→図形の認識</p> <hr/> <p>【学習目標】</p> <p>A【縄跳び】 みんなで跳べた個数を数える 30, 60, 100</p> <p>B【運動会】 例【若佐、浜佐呂間地区】玉入れの数をみんなで数える</p> <hr/> <p>【学習目標】 A【縄跳び】 みんなで跳べた個数を数える 30, 60, 100</p> <p>B【運動会】 例【若佐、浜佐呂間地区】玉入れの数をみんなで数える</p> <hr/> <p>【学習目標】 野外遊び・散歩【生き物観察・虫・バッタ・蝶々・アリ・ほかに】 → A (多様ないのちに触れ) 命の不思議さに触れる。</p> <p>【学習目標】 農園栽培【水遣り、手入れ】 で → A (植物や生き物) を大切にしようとする。</p> <p>【学習目標】 絵本・物語【読み聞かせ】 で → A (月の満ち欠け～自然現象・季節・動物・植物) に気付く。</p> <p>【学習目標】 行事【遠足・季節の行事】 で → A (戸外の自然・動植物の姿) に気付く。 ○観察力・発想の豊かさ・自由性・創造性 ○季節の自然との関わりの中で、発見や驚きを友達と共有し、試したりする。</p> <hr/> <p>○生活の中での「きまり」に気づき、守ろうとする。</p> <p>○遊具や用具の安全な使い方を考えながら遊ぶ。</p> <p>○戸外に出て、思いっきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○友達との思い出を振り返り、かけがえのない出会いを温めようとする。</p> <p>○興味・関心を持ちながら、様々な環境に主体的に関わり、試したり、挑戦したりしようとする。</p>	<p style="text-align: center;">数量感覚 【数、合わせていくつ】</p> <p style="text-align: center;">数量・図形 文字 標識</p> <p style="text-align: center;">思考力</p> <hr/> <p style="text-align: center;">自然・生命尊重</p> <p style="text-align: center;">思考力</p> <hr/> <p style="text-align: center;">豊かな感性 表現 健康な 心と体 社会 生活</p>	<p>「数の概念」などを大単元として、配当・重点目標の配列によって時系列で示し、スタートカリキュラムで実践を意識しやすいようにと考えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>～ 合わせていくつ ～ 【事物と数に対応させ、合わせた数を考えられる】 ★10までの数の数え方、よみ方、書き方 ○せんぶでいくつ(4月) ○</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>～ 数を組み合わせ、 ～ ○(10月) ○</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>～ 式と計算 ～ 【★】 ○せんぶでいくつ ○どれだけおおい ○10よりおおいかず ○たしざん○ひきざん</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>～ どんな形? ～ ○かたちあそび(月) ○かたちつくり(月)</p> <p>～ くらべてみよう ～ ○くらべかた(月) ○いまなんじ(月) ○なんじなんぶん</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>～ がっこうだいすき! ～</p> <p>○いちねんせいのはじまるよ(4月) ○なかよし いっぱい がっこうたんけん ○さいて ほしいな わたしの はな ○なつと ともたち ○いきものと なかよし ○あきと ともたち</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>～ 合科的指導 ～【自然生命】 ○はなのみち【想像・育護】 ★植物の種をまき育てることに関わる題材(生活科) ★動物や自然に親しむことに関わる題材(道徳)</p> </div>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">算 数 科</p> <hr/> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">生 活 科</p> <hr/> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em; font-weight: bold;">音楽 図工</p> <hr/> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em; font-weight: bold;">保健 体育</p>
--	---	--	---	---	---	--	---

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■架け橋期のカリキュラム案（佐呂間町）

<p>人と関わる力</p> <p>なかよく 環境（もの・ひと・こと）を通し</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○やりたい遊びを自分で見つけ、友達と関わろうとする。 ○着替えや、トイレ、うがいなどを自分でしようとする。 ○正しい「鉛筆の持ち方」や「座り方」に気付く。 ○当番の活動を友達と協力して取り組もうとする。 ○友達を思いやり、 	<p>自立心</p> <p>協同性</p> <p>道徳規範意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○必要なことを先生や友達に伝えられる ○自分の体の調子を知り、伝えられる。 ○正しい「鉛筆の持ち方」や「座り方」を知り、身につける。 ○ ○
<p>ワンポイント</p>		<p>考える視点①</p> <ul style="list-style-type: none"> ★「安心が第一」（心のベース・居場所・時間構成・トイレ・手洗い場・給食・校地） ★興味や主体的な意欲、新鮮な気付きを ★段階的に、安心して学べる環境づくり（4人机からの安心感→） ★身体感覚の統合（5感と身体バランス）感覚のピラミッド（床・裸足・肌感）  <p>考える視点②</p> <ul style="list-style-type: none"> ★言葉による関わりで、子どもの安心と成長を支える。 ★子ども、先生、保護者にも「楽しい（魅力ある）」環境の構成を工夫したい 		
<p>指導上の配慮事項</p>	<p>先生の関わり</p>	<p>大切にしたい関わり～言葉掛け・援助・支援の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ★自分から言葉で伝えられるように、待つ、問う、促していく（9月の各地区保小ワーキンググループで） （例）★言葉掛けのトーン（質）をなだらかに接続する。（保小）（全国、保育経験者の意見で） ★子ども達自身の「<input type="text"/>」を大切にしたい環境を構成されている。（絵本！）（9月の各地区保小ワーキンググループで） ★注意ひきつけ「いいですか？」「いいですよ。」→「いいですか？」「←」「←」（9月の各地区保小ワーキンググループで） ○ 		
	<p>環境づくり</p>	<p>大切にしたい環境～（例）絵本・遊具・掲示物などの「配置」、時計・プレイマット（床）など「設備」・「仕組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★感覚を養う（のり、裸足、<input type="text"/>)→感覚統合9月の各地区保小ワーキンググループで ★それぞれの活動の場で「<input type="text"/>」の発揮をとらえた環境構成【場所・時間構成】 ★学びの形態（遊び（遊戯性・環境）の大切さ）直接体感 ★ 		
<p>学びのプロセス</p>		<p>「遊び・環境・学びに自ら主体的に関わる力（興味・関心・意欲・試し・工夫・観察力・発見力などの）学びのプロセス」保小共通で活かせる力</p>		
<p>保小の連携交流活動</p>	<p>ちょっとした心温まるコマ交流を！</p>	<p>佐呂間各地区では</p> <ul style="list-style-type: none"> ★保小子ども同士の交流・遊び <p>【(例)生活手作りおもちゃ、七夕交流会、中休みや季節の行事を生かした交流会など】</p>		

架け橋期のカリキュラムの概要及び作成プロセス

■架け橋期のカリキュラム案（佐呂間町）

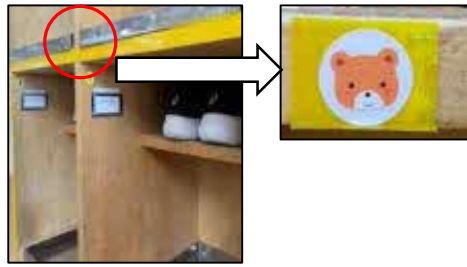
家庭との 連携		♥ 保育所では <input type="text"/> ◆ 小学校では <input type="text"/>	
		★家庭での親子の触れ合いや温かいコミュニケーション ★家庭での望ましい生活習慣・挨拶・リズム 等家庭ををサポートする情報提供(10月WGから)	
連携機関・部局 その他		佐呂間では ★通信さこっとで「子どもの保育・教育情報」を伝え、共有する【(例)】	
		佐呂間では ★18歳までの育ちの姿を共有する(0歳乳幼児～18歳までの育ちの架け橋)【(例)】	

教師の指導・援助及び子どもの学びの変化

指定地域：えりも町



生活の流れの可視化
＜幼児の特性を踏まえた工夫＞



園で使用していたお名前シールの活用
＜児童が安心感をもつための工夫＞

■教師の指導の変化②

- ・スタートカリキュラムをより意識した指導
- ・幼児教育施設で行っていた活動を踏まえた指導

■子どもの変化

- ・のびのびと自分らしく、楽しそうに学校生活を送っている。
- ・子どもたちが、幼児教育施設で行っていた活動について積極的に話してくれるようになり、幼児教育施設での学びと教科の学びが繋がり、学習に深まりが見られるようになった。

■教師の指導の変化①

- ・園の保育者から幼児の特性について助言をもらい、生活の流れを可視化
- ・園で使用していたシールを活用するなど、園と小学校のつながりを意識した環境の工夫

■子どもの変化

- ・言葉の説明に加え、写真があることで小学校生活の流れをスムーズに理解することができた。
- ・自分が慣れ親しんだシールが小学校のロッカーや靴箱に貼ってあったことで、喜んだり、安心感を感じている様子が見られた。

■保育者・教師の援助・指導の変化③

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した指導（園・小学校）
【協同性】 【言葉による伝え合い】

■子どもの変化

- ままごと遊びをする際、保育者側から設定してスタートしていたが、遊ぶ前に子どもたちと使いたい物などを考える時間を作ったことで、個々に考えたり、友だちと相談し合ったりして、これまでの遊びでは使わなかった物を使い、遊びが広がり、会話のやり取りも増えた。

教師の指導・援助及び子どもの学びの変化

指定地域：佐呂間町

■ アンケート調査（7月、12月）

【実施回数】年2回

【対象】施設長・校長、保育者・教職員、保育所及び小学校保護者、中学校、高校、関係部局

保育所と小学校を結ぶためのアンケート【保小保護者様 用】

■お子様の通園・通学先を○で囲んでください。〔 保育所 小学校 〕

現在、佐呂間町では0歳～18歳までつながりのあるこどもの教育を目指して取組を進めているところです。特に、こども達が保育所から小学校へ入学するに当たって、スムーズな接続や質の高い教育を目指して、保育所と小学校の連携を深める仕組みづくりに取り組んでいます。つきましては、保護者の皆様のお声を集め、今後の参考としたいと存じますので、本アンケートへのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。（佐呂間町教育委員会教育長 谷川 敬）

⇒ 7月6日(木)までに、各施設までお送りください。

※下記の1～3の質問について、当てはまるものを○で囲んでください。

1 保育所から小学校への入学に当たって、こども達にとっては大きな環境の変化があります。入学する(した)こども達にとって、学びや生活面でスムーズな「接続」は大切だと感じられますか？

ア とても大切だと感じる イ まあまあ大切だと感じる
ウ あまり大切とは感じない エ 大切とは感じない

2 「保小接続」または「幼保小接続」という言葉を以前からご存知でしたか？

ア 知っていた イ 知らなかった

3 あなたのお子様の入学に向けて、知りたいことや心配なことはどのようなことですか？

また、どのような準備が必要だと感じられますか？当てはまるものをすべて選んで記号を○で囲んでください。（※すでにお子様が1年生になられている保護者の皆様におかれましては、入学当時のことを振り返って、お答えをお願いします。）

ア どのような勉強が始まるか知りたい イ どのような生活の変化があるか知りたい
ウ どのような学用品が必要か知りたい エ 自分のことを自分でできる準備（生活習慣など）
オ 困ったら自分から先生に言える準備 カ ひらがな、数字、名前などが書ける準備
キ 学校の生活に慣れることができるか心配 ク 学校の勉強についていけるか心配
ケ 友達や上級生とうまくやっていけるか心配 コ 先生とうまくなじめるか心配
サ その他何かあればお書きください

1

1

4 こども達の豊かな創造力や思考力を、遊びや活動（5歳児）、授業の場面（小学校1年生）で育むためにはどのようなことが大切だと考えますか？特に大切だと思うものを3つ選んでください。

ア こどもが自由に遊んだり活動すること イ こどもが十分に考える時間があること
ウ 大人が手をかけ過ぎないこと
エ 保育士や教師によるこどもの発達や活動の援助・指導
オ 保育士や教師からこどもに課題を設定してもらうこと
カ その他【 1

第1回アンケート調査【実態把握】

- ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの整備・活用状況
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解
- ・幼児期の教育の重要性についての理解
- ・架け橋期の教育で大事にしたいこと

など

第2回以降のアンケート調査をもとに、意識の変容等について検証



指定地域：佐呂間町

■保育者・教員の気付き・変容

- ・ 小学校1年生はできないことが多いと思っていたが、年長児ができることはたくさんある。
- ・ 各地区でワーキンググループを行ったことにより、保育所も小学校も同じ視点で子どもに指導していたことが分かった。子どもの実態把握に繋がるとともに、どのような資質・能力を育む必要があるか、そのための指導の方向性について共有することができた。
- ・ 保育者・教員が積極的にワーキンググループに参加し、接続期の教育の充実について自分事として考える様子が見られるようになった。

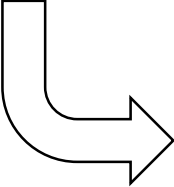
～道全体の教育の質的向上・地域間格差の解消～

● 北海道版幼児教育スタートプログラムの策定

指定地域の研究成果等を取りまとめ、各地域で架け橋期のカリキュラム開発等に取り組むための手順、留意点、実践事例等を示したスタートプログラムを策定

● 北海道版幼児教育スタートプログラムの普及・啓発

研修等をとおして、スタートプログラムの普及・啓発を図り、各地域における幼保小の連携・接続の取組を推進

- 
- ・ 指定地域の研究成果等の整理
 - ・ 地域によって多様なケースが考えられるため、指定地域以外の実践事例の収集
 - ・ スタートプログラムを活用した研修の実施